

「第3次いすみ男女共同参画プラン(素案)」に関する パブリックコメントの実施結果

市では、「第3次いすみ男女共同参画プラン(素案)」について、広報いすみ(1月号)やホームページ等でパブリックコメントを募集しました。その結果、1人の方から5件の意見が寄せられました。いただいたご意見及びこれに対する市の考え方は以下のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

No.	ご意見等	市の考え方	修正等の有無
1	男女共同参画意識の醸成として、固定的性別役割分担意識の解消やアンコンシャス・バイアスの認知・理解を推進するための市民向けセミナー、講演会等(広報誌やホームページでの周知よりも、より市民に届く方法)の開催を希望します。 現在はコロナ禍のため難しいと思います。コロナが落ち着きましたらご検討頂けたらと思います。	ご意見にありましたとおり固定的性別役割分担意識の解消や、アンコンシャス・バイアスの認知・理解を推進していくためには、セミナーや講演会等を通じた男女共同参画意識の醸成が重要だと考えます。あらゆる機会を捉え、意識啓発のための取組みを推進してまいります。	無
2	教育を通じた男女共同参画の意識改革として、学校教育の場(総合学習の時間等)で、人権・男女共同参画、ジェンダーや性の多様性、DV、ワーク・ライフ・バランス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ等健康と性に関する知識等を学習できる機会を設けてほしいです。	子どもの頃からご意見にあったような教育を受けることは将来の選択肢の幅を広げるため重要だと考えます。教育委員会と連携して推進してまいります。	無
3	誰もがいつでも容易に男女共同参画への情報に触れることができるようにするために、学校の図書室や、公民館等の図書室で関連書籍が豊富に置かれることを希望します。	各庁舎、公民館などに男女共同参画に関するパンフレットの配架や、各図書室関係部署と連携し男女共同参画に関する書籍等の配架により広報活動に努めてまいります。	無

4	子育て環境の整備として、一時保育・休日保育等のサービスの充実や、子育てヘルパー派遣等の充実を希望します。仕事、急な病気、リフレッシュしたい時など、現状では困ったら実家の親を頼るしかありません。それすらも頼れない人、場合もあります。 一時的にでも子供を預けられる場や、預かってくれる人がもっと身近にあり、利用しやすい環境になると、安心して仕事や家事に取り組めると思います。	子育て環境の整備は、市として取り組む最も重要な課題の一つです。現在市で実施している事業の継続・充実に併せいただいたご意見を参考に地域の特性を踏まえた施策を関係各課と連携し推進してまいります。	無
5	家庭における家事分担の中でも、食事作りが 78.0%と、最も女性への負担が大きいです（プラン 16 ページ、図 3） 中でも幼児・子供向けの食事は、大人とは別に用意しなければならず（味付け、食べやすさ、栄養面、好き嫌いなども考慮する必要があるため）子供の食事と大人の食事を同時に用意するのはかなりの負担です。 子供向けのお弁当やお惣菜を、保育園や学校の近くで販売する店舗があり、営業時間は帰宅時間に合わせて午後～夕方であると大変助かります。そういった店舗の誘致や助成などお願いできればと思います。 保育園の給食室で夕食、朝食向けの食事を作り、販売して下さるのでもいいです…子供は家庭で作った食事は食べなくても、保育園の給食は完食するということがあるので…。 もちろんお友達と一緒に食べるから楽しくて食べられるということもあると思いますが、味付けや栄養面などからも保育園の給食は完璧だと思いますので、個人的にはそれもととても良いと思います。	プラン 16 ページ図 3 の「日常の家事の実際の分担」にあるように、「食事づくり」については『妻が中心』という回答が 78.0%と大半を占めている状況です。性別による固定な役割分担意識の解消も今後目指すべき課題です。それぞれの家庭のライフスタイルにあった家事や育児への関わり方を考える機会等を提供できるよう努めます。また、ワーク・ライフ・バランスの推進のため、いただいたご意見を参考に地域のニーズをとらえた施策を検討してまいりたいと考えます。	無